

ANIMAL CENTER NEWS

No . 10

目次

◆非医薬品（試薬）グレードの薬剤による麻酔は適切ではありません

◆機器予約システムについて

◆実験計画書の継続状況と

センター登録者の継続利用の確認について

◆センター内におけるチャタテムシの終息に関して

◆モニター動物の微生物モニタリングを行いました



(写真1) しだれ桜

◆非医薬品（試薬）グレードの薬剤による麻酔は適切ではありません

実験動物・動物実験の国際的な基準である「Guide for the Care and Use of Laboratory Animals」に「医薬品グレードの薬剤を利用することにより、望ましくない副作用を排除できる。医薬品グレードの化合物が入手可能な場合は、それを用いるべきである。」と記載されています。

試薬グレードで販売されているイソフルランやペントバルビタールナトリウムは使用しないでください。適切な麻酔効果を得るために医薬品グレードの薬剤をご使用いただきますよう、宜しくお願い致します。

◆機器予約システムについて

動物センター内の麻酔器、麻酔薬等の予約をせずに使用されている方がいます。

その時間の予約をされている方のご迷惑にもなりますし、確実な利用料金の算出のためにも、動物センター内の麻酔器や麻酔薬、処置室等を利用される場合は必ず機器予約システムから予約をした後にご使用ください。よろしくお願い致します。

ご不明な点やご質問等ございましたら、動物実験部門管理室（5446）にご連絡ください

◆実験計画書の継続状況とセンター登録者の継続利用の確認について

新年度に入りましたら、実験計画書の継続状況及びセンター登録者の継続利用の有無を各講座に確認させていただきます。

実験計画書については、変更がある場合は、動物実験変更届を、実験を終了されているものは中止・終了報告書をご提出ください。

また申請から5年以上経過している計画書（変更申請されていない）及び、実験責任者が変更になる場合も実験計画書の新規作成をお願いします。

新規届 (<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/Keikakusyo2017.doc>)

変更届 (https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/keikakusyo_2.doc)

中止・終了報告書 (https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/%2004_doc/committee/do-butu3.doc)

◆センター内におけるチャタテムシの終息に関して

平成30年9月から10月にかけて、センター内2飼育室においてチャタテムシの大量発生が確認され、その後別の3飼育室においても少量発生が認められました。粘着マット・掃除機・スチームクリーナー・アルコールによる対策を入念に行い、このたび平成31年2月に全部屋で終息したことを確認致しました。今後も定期的モニタリングを継続しながら、より清潔な飼育室を維持管理し、皆様に快適な環境を提供できるよう尽力して参りますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

◆モニター動物の微生物モニタリングを行いました

センター各飼育室のモニター動物の微生物検査（自家検査）を実施した結果、全ての項目で陰性でした。検査結果は動物実験部門のホームページでご確認ください。

モニター動物検査結果 (<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/04/guide/result.html>)